

県内建設業の労働災害の大幅増加にご注意ください!!

1 死亡を含む休業4日以上の労働災害発生状況（富山県内：建設業）

富山県内の建設業の令和6年（1月～6月）の死亡を含めた休業4日以上の労働災害発生件数（速報値）は、下表のとおり、**前年同月比19.4%の増加**となりました。

さらに、令和6年（1月～7月）同（速報値）で、26.5%に増加率が拡大しています。

全国の建設業の件数がマイナス2%前後で推移する中、県内で大幅増加している要因は様々推測されますが、いずれにせよ労働災害が非常に発生し易い環境の下で、今は仕事をせざるを得ない状況にあることを、職場や現場全体でしっかり認識し、改めて安全衛生管理の徹底を図る必要があります。

令和6年（1月～6月）業種別署別労働災害発生状況（速報値） 富山労働局

	署別	富山		高岡		魚津		砺波		合計		前年同期比																
		6年	5年	6年	5年	6年	5年	6年	5年	6年	5年	増減数	増減率															
業種別		死亡	休業	死亡	休業	死亡	休業	死亡	休業	死亡	休業	死亡	休業	%														
		建設業	土木工事業		4		3		8		6		1		5		1	5	1	6	1	22	1	16		6	37.5	
建築工事業			14		10		14		9		5		4		1	5		8	2	38		31	2	7	22.6			
木造家屋建築工事業			2				1	7		7		3				2		5	1	14		12	1	2	16.7			
その他の建設業			4		5		1	5		6		4		4		1			1	14		15	1	-1	-6.7			
建設業計			22		18		2	27		21		1	14		9		1	11	1	14		4	74	1	62	3	12	19.4

7月末には
26.5%に
拡大

※労働者死傷病報告による集計。休業の件数は、死亡を含めた休業4日以上の労働災害件数。

2 死亡災害の発生状況（富山県内全体：6月末現在）

死亡者5名のうち**建設業で4名の死亡災害が発生**しています。（建設業は番号1, 2, 3, 5）

番号	発生日	業種	起因物	事故の型	年代	経験年数	災害発生状況
①	1月	機械器具設置工事業	高所作業車	はさまれ・巻き込まれ	70歳代	39年	高所作業車のバスケットに搭乗し、床上からの高さ約5mにあるプレスのデッキ下部の塗装工事を行っていたところ、当該デッキとバスケットの手すりに頭部を挟まれた。
②	2月	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	屋根、はり、もや、けた、合掌	墜落・転落	50歳代	経験なし	建築物のトタン屋根の葺き替え作業中、取り外したトタン板を運搬するため、屋根上を歩いていて木毛板に乗った際に、同板を踏み抜き、高さ約8m下のコンクリート床面に墜落した。
③	6月	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	その他の環境等	その他	50歳代	24年	事業場敷地内にある資材置場において、貨物自動車に資材を積み込む作業を行っていたところ、蜂に刺された。被災者は病院に搬送されたが、後日アナフィラキシーショックによる死亡が確認された。
4	6月	木材伐出業	立木等	激突され	60歳代	6年	胸高約40cm、樹高約27mの杉を伐倒した際に、当該伐倒木が跳ねて被災者に激突した。
⑤	6月	水力発電所等建設工事業	クレーン	崩壊・倒壊	40歳代	15年	ケーブルクレーンの解体作業中、高さ9m、重さ約5トンの金属支柱を支えていた仮設ワイヤーの一部を緩めたところ、当該支柱が倒れて被災者に激突した。

3 富山労働局の建設工事現場に対する監督指導の結果

富山労働局管下の各労働基準監督署が、全国安全週間の期間中に、県内の土木・建築工事現場に対する集中的な監督指導を実施した結果、115現場のうち77現場（67.0%）で労働災害防止に関する法令違反等の指摘を受け、5現場では足場の使用停止等の行政処分を受けています。

各現場における法定事項の再点検が必要となっています。